

# めざせ未来の「プロ棋士」

【宜野湾】将棋のプロが子どもたちを指導する会が13日、市赤道のはごろも学習センターであった。指導を受けたのは市子とも将棋サークルのメンバー。本島各地から保護者も含め約50人が参加し、プロ棋士のアドバイスに熱心に耳を傾けていた。

## 宜野湾で将棋教室



指導対局する高田尚平6段（右）。アドバイスも交えながら指していく13日、宜野湾市赤道・はごろも学習センター

## 高田6段 指導対局 丁寧有助言

指導したのは高田尚平6段。将棋普及のために全国を回り、沖縄にもたびたび訪れている。学校での講演や、駒の動かし方など基本から教えることもあるという。

高田さんは、指導対局した子どもたち一人一人に「上手に攻めていたけど、大事な駒は、ただで取られないようにしよう」「全体を見ようね。でも、このやり方はとても良かった」などと丁寧にアドバイスしていた。

高田さんを相手に粘り強く考え抜いた根路銘利奈さん（浦添市立沢岷小6年）は「詰めそつだけど詰めなかった。とっても強くて勉強になった」。プロ棋士になるのが夢という辺土名朝陽君（那覇市立城北小2年）は「攻め方守り方を教えてもらった」と喜んだ。神賀大地君（宜野湾小3年）は、指導の順番を待ちながら「ときどきする。教えてもらったら強くなると思う」と話した。

高田さんは沖縄の印象を「あいさつをちゃんとできる子が多い」と話し「将棋は運の要素がないゲーム。その分、喜びや悔しさが強いのでそれを感じてほしい。プロ棋士がいずれ、出てくれれば」と期待した。